

回 覧

しばたまち交流ひろば

ゆる。ぷら倶楽部



2014.9.1 ニュースレター第 50 号

夏の体験会!!ご参加ありがとうございました!!

○ 『和紙ちぎり絵のあさがお扇子』 7月27日(日)実施



せんすをつくって
たのしかったです♪



毎回楽しみに来て下さる方も!

○ 『お子さまカゴバッグ』 8月1日(金)実施



おしゃれでかわいいカゴバッグ。アレンジを楽しめて、夏休みの工作にピッタリ!

○ 『親子でオカリナ』 8月3日(日)実施



ほとんどの方が初めてオカリナを体験

○ 『プリザーブドフラワーの花かご』 8月9日(土)実施



細かな作業が多かった分、素敵な作品に皆さん大満足の様子!

○ 『和紙ちぎり絵の金魚うちわ』 8月9日(土)実施



「難しかったけど、やはり自分で作ったうちわは最高!」と嬉しい感想

8月のギャラリー展示の様子

◎KC 絵画教室(彩紀会)作品展 (8月5日～8月17日)



教室の大沼美知子さんより

ゆる.ぷらでの展示は初めてでした。
幼児から90歳代という幅広い年代の会員
がそれぞれに楽しんで描いております。
これからも成長の跡がみえる様に描いて
いこうと思います。

◎佐藤せつ手すき和紙ちぎり絵愛好会作品展 (8月19日～8月31日)



佐藤せつ手すき和紙

ちぎり絵愛好会より
身近に咲いている庭の綺麗な
花や風景を写真に撮ってちぎり絵
にしています。

やり方は和紙をちぎって貼って
いきますが、色彩を変えたい時は湿
らせてはがせるので何度でもやり
直すことができます。

まちづくり推進センター情報

【地域づくり支援員レポート】

まちづくり推進センター（ゆる. ぷら）を拠点に地域支援活動をしている「地域づくり支援員」。その地域づくり支援員からの巡回レポートです。

【—自分たちの地域は自分たちで守る— 第11A区で防犯パトロール隊結成】

地域住民どうしのつながりが徐々に薄まりつつあり、子ども達への声掛けにも気を使うようになってきている近年、一方で「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識が高まっている地域もあります。今回は、防犯パトロール隊を結成し、地域の安全向上に取り組み始めた事例を紹介します。

「自主防災会防犯パトロール隊」が結成されたのは第11A区（大槻文悟行政区域長）。8月3日（日）に初の夜間防犯パトロールが行われました。パトロール隊員は60名余りで、当面は1回当たり10名程度で区域を分け、毎月第1日曜日の午後7時からパトロールを行うこととしています。

この日は、当番となった12名の隊員が「新田集会所」に集合、区長さんや事務局からパトロール区域・方法、留意事項等の説明があった後、帽子、蛍光チョッキ、タスキを着用、提灯、赤色灯を手に2班体制で上大原地区に向かいました。パトロール中であることを知らせる拍子木を打つ男性を先頭に「戸締り用心、火の用心」の声かけが行われました。途中、食事中や夕涼み中の住民からは感謝と激励の気持ちが込められた「ご苦労さん」の声を頂き、隊員の皆さんからは士気の高揚が感じ取れました。

パトロール後は、防犯灯整備の必要性や若者のたまり場等の情報交換等が行われ、「毎回パトロールに参加したい」との発言もあり、隊員の皆さんの意気込みが伝わってきました。

大槻行政区域長さんからは「高齢者世帯が増加する中で、何気なく見守ってくれるご近所さんの存在は有難いものです。巡回を通して地域の方と触れ合うことにより、安全で安心な町づくりを目指していきます。」との話がありました。



今回当番となった隊員の皆さん



パトロールのポイントを確認し出発！

防犯パトロールは「犯罪・事故・災害の被害を未然に防止する」、「ご近所同士が顔見知りとなり連帯感が生まれる」、「地域環境の見直しのきっかけになる」等、犯罪等被害に遭いにくい環境づくりに効果があると言われていきますので、活動の長期継続が期待されます。

柴田町地域づくり支援員 本郷良治 大内進

まちづくり提案制度 実施状況報告：しばた 100 選

まちが刻み、創られてきた文化や歴史。過去から現在、そして未来へ。
柴田町の誇れる美しさや素晴らしさをもっと知りたい！
残し伝えていくために…皆様の地域で知っている事を教えてください。
誰かの宝ものがみんなの宝ものになったらステキです。



公式ロゴ

平成25年度第2回審査で採択となった意見提案「しばた100選の選定」は、6人の公募スタッフ「しばた100選制作チーム」によって、事業のデザイン・運営が進行中です。

「伝えたい、残したい、自慢したい、しばたの宝もの」をテーマに、地域資源100点を募集・選定の上、平成28年度に柴田町が町制60周年をむかえるのに合わせて発表します。

たとえ有名でなくとも、皆さんが愛着を持つ場所や伝統行事などはありませんか。歴史・自然・郷土食・行事や風習・楽しいスポットなど、身近な地域ご自慢の宝ものを、ジャンル問わずに募集します。

地域資源をもっと知り、自慢し合っ楽しんで楽しむことは、それらを未来へ残し、伝え、育てるきっかけにもなります。

11月1日から翌年1月15日までの募集期間にあわせ、左図のような応募用紙を全戸配布します。友達・家族・地域などで話題の一つに加えていただけたら幸いです。何通応募しても構いません。詳しくは11月に配布の応募用紙をご覧ください。



柴田町には町外から移り住んだ方も多くいると思います。私もその一人で、柴田町の住みやすさから終の棲家としました。自然の豊かさの他に、人との繋がりも住みやすさを生んでいます。住んでみて「町のことをあまり知らないな」と思いました。柴田町の魅力や自慢とは何だろう？そこに毎日暮らしている自分たちでも知らなかったこと、忘れてしまっていたことがあるかもしれません。

日々の営みの中で、積み重ねられていく文化や歴史。この地に生きる誇りと喜び。親から子へずっと大切にしたい、語り継がれてきた慣わし。

それらへの思いから、今回「しばた100選」を募集することとしました。

「しばた100選」が、柴田町の魅力や自慢を後世に伝える一助となれば幸いです。皆様の「宝もの」を教えてください。しばた100選制作チームリーダー 豊川光雄

※平成26年度第2回まちづくり提案募集中！ 9月24日（水）まで

ニュースレター「ゆる.ぶら倶楽部」はおかげさまで第50号の発行となりました！

いつも体験会やギャラリー展示などでお世話になっている皆さま、ご来館くださる皆さま、ゆる.ぶら倶楽部を毎号ご覧いただいている皆さまには心より感謝申し上げます。

これからもよろしく願いいたします！

ゆる.ぶらスタッフより

(お問合せ先)

■しばたまち交流ひろば ゆる.ぶら
(イオンタウン柴田内)

電話 86-3631 FAX 86-3641

eメール yurupura@town.shibata.miyagi.jp

開館時間 10:00~18:00

<9月の休館日:1日、8日、16日、22日、29日>

■柴田町まちづくり政策課

電話 54-2111 FAX 55-4172

